

## 令和2年度第1回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年4月13日(月)午後4時00分～午後5時33分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 鴻野弘志  
職務代理者 五十嵐紀子 合宿の里統括監 三上正洋  
委員 馬場千晶 学校教育課長 須藤友章  
委員 加藤洋之 合宿の里・スポーツ推進課長  
委員 山田敦久 坂本英樹  
社会教育課長 武山鉄也

### 4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

令和2年度のスタート。本来なら2020オリンピック・パラリンピックなど、わくわくするようなイベントが予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で延期になった。北海道知事と札幌市長が緊急共同宣言を行ったところだが、今は我慢の時。決して対岸の火事とせず、感染防止に努めたい。

本年も委員の皆さんに入学式に出席していただく予定であったが、規模を縮小し、参加者を制限して実施したため、来賓を招いて式を行った学校は5校のみであった。そのうちの一つである士別東高校の入学式に参加してきたが、新入学生、在校生、保護者の出席のもと、晴れて入学の日を迎えた生徒に、校長がしっかりと式辞を述べながらも、30分程度で終了した。

家庭では子どもだけでなく保護者にもストレスがかかっている状況もあるようだ。何とかコロナウイルスの感染者が市内から出ないことを望む。

そんな中、残念ながら、北海道教育委員会の佐藤教育長が急逝された。

これまでに例のない事態だが、年度の始まりであり、できることから進めていきたい。

今年度もよろしく願います。

#### 1 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第1号 令和2年度士別市教育推進の重点について説明を求める。

##### ○鴻野部長

重点は教育行政執行方針を基に作成している。本来なら事前に皆さんに送付させていただくべきところだが、この場での提案となった。今週の金曜日にも教育委員会会議を開催し、皆さんからのご意見を反映した重点を確認いただく予定。今年度は前年と比較し、項目の数を絞っている。

##### ○中峰教育長

昨年度も項目数を絞ったが、以前はもっと多かった。この重点を基に事務事業の点検・評価を行うことになる。

##### ○加藤委員

現状ではどこまで事業を行うことができるか。活動しようとしても集まるのが問題になる。

##### ○山田委員

ICT関連の生産が滞っているのにGIGAスクール事業で需要が高くなってしまう。早くコロナが

収束すれば良いが、少し治まってもぶり返してしまう。札幌市ではまた休校になるようだ。

○中峰教育長

政府の専門家会議は、流行の状況に応じて「感染拡大警戒地域」「感染確認地域」「感染未確認地域」の三つに区分している。北海道は「感染確認地域」になるが、感染者が増加傾向にある。札幌周辺の高校も臨時休校する。もし地域で発生した場合、北海道の衛生主管部局と協議して対応を検討することになる。

○山田委員

いつ終わるのかわからない。できなくなる事が多くなる。

○中峰教育長

外部から講師を招く事業は限られてしまうかもしれない。

○五十嵐職務代理者

基本として重点を定めておく必要がある。実施できるかどうかは臨機応変に対応しなければならない。

○加藤委員

子どもたちは休校で授業が受けられなかった。課題のプリントだけでは身につかない。直接授業を受けるべきだが、環境を整える必要があり難しいと感じる。今後、さらに新たなウイルス等が発生する可能性もある。振り回されっぱなしの印象があり厳しい。札幌市では家庭にいながらリモート授業が受けられるのか。映像配信のような方法もあるが、全ての家庭でタブレット端末を用意するのは無理である。

○山田委員

東京都は対応できるが、大阪府では難しいなど、自治体によって財政的な格差が出る。国が一律に対応するなどしなければならない。

○中峰教育長

重点は2年度に実施する項目を示したもの。合宿はゴールデンウィークを迎えるまで受け入れ予定がない。しかし、重点として示していかなければならない。皆さんからの意見をお聞かせいただき、次の会議で確認することとしたい。意見等があれば、明後日までに事務局に連絡願いたい。その状況や現状も鑑みて、次回（4月17日）については、書面会議にすることも諮りたい。

○全委員

書面会議を可とする。

○中峰教育長

そのように取り計らう。

○中峰教育長

議案第2号 士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任について説明を求める。

○鴻野部長

7つの各種審議会において委員が退任したため、新たな委員を選任したもの。

○中峰教育長

多くは学校長や教頭の人事異動によって選任するもの。

※ 議案第2号 了承

○中峰教育長

議案第3号 士別市学校運営協議会委員の選任について説明を求める。

○武山課長

学校運営協議会のうち、南小学校だけは委員の選出が完了していないので、7地区分のみ提案している。なお、委員の人数については基本的に変更していない。

○五十嵐職務代理者

委員の任期は何年か。

○武山課長

任期は1年のため、毎年選任している。

○中峰教育長

地域コーディネーターについて説明を。

○武山課長

士小・士中・南小・南中の4校には地域コーディネーターを配置している。他の地区では公民館職員がその職を担っているが、多寄地区の協議会だけは公民館職員が委員に選任されていない。しかし、公民館職員も会議には参加している。

○中峰教育長

中央4校以外の協議会も、誰がコーディネーターかを表記した方がわかりやすいのでは。

○五十嵐職務代理者

コーディネーターがいないのかとってしまうので、その方がよい。

○中峰教育長

各地区の協議会では、学校が求める支援を行っている。地域に複数の学校がある場合は、事務局校を決めている。各地区での取り組みを共有するため、全市的に情報交換する場を設けているところ。

○五十嵐職務代理者

多寄地区の委員には、所属・職名が入っていないのはなぜか。

○武山課長

多寄では地域全体の体制として委員の選任を行っており、構成団体などによらない考えのもと構成している。他の地区では学校が役員などに依頼しているケースが多い。

○中峰教育長

委員には教育委員会から委嘱する。

※ 議案第3号 了承

## 2 その他について

小中学校の運動会及び体育祭の日程について

○中峰教育長

明後日に校長会を開催し、運動会等の開催について確認する。各学校ではPTA総会も開催できていない。運動会は人の動きが出てくる。これまでどおり参観・応援はできないと思う。

○鴻野部長

士中の体育祭は秋に延期、南中も延期を検討中と聞いている。その他の学校は、規模を縮小して開催を検討しているようだ。

○馬場委員

本州では秋に運動会を開催するところもある。

○五十嵐職務代理者

修学旅行への影響はどうか。

○鴻野部長

中学校は今月下旬から来月にかけて実施する予定だったが、全ての学校が7月以降に延期している。小学校では7月以降に予定しているため、まだ対応が決まっていない。

○中峰教育長

それぞれ学校で検討・対応している。東高も宿泊研修を延期したところ。

【コロナウイルス関連について】

○鴻野部長

4月8日に市の対策本部会議を開催し、イベントのあり方について協議した。市民自治部では全てのイベントを中止、経済部ではゴールデンウィークに開催しているシーブドックショーを中止するほか、牧柵整備も一般公募せずに実施する。教育委員会の施設は、市民利用に限り使用する方針。博物館はゴールデンウィーク期間中の特別開館を見合わせる。図書館は通常通り開館するが、イベントの内容は見直すことにする。屋内の体育施設は原則市民利用に限定し、中高生の部活動も利用可能とするが、少年団の活動については保護者が同行するものとする。屋外の体育施設は密集を避けるため、トイレのみ開放することとする。市外からの利用は、北海道と札幌市の緊急共同宣言を受け、5月6日まで使用不可としお断りする。

○坂本課長

少雪により陸上競技場は3月中旬、グリーンスポーツは3月下旬から使用可能となった。天塩川パークゴルフ場もオープン。ふどう・朝日の各パークゴルフ場も4月25日にオープンする予定。いずれの施設もクラブハウス等の建物についてはトイレのみの利用に限り、更衣室や本部席などは開放しない。イベント関係では、「チャレンジデー」を主催している笹川財団が全国一斉での開催を取りやめたため、みよし市との対戦は次年度に持ち越しになった。市民に運動の機会を提供するため、何らかの形で独自に開催したい。5月には高平慎士氏を講師に迎え「スポーツ能力向上事業」を開催予定であったが、日本陸連が6月末まで対外的な活動を自粛していることから、時期をずらして開催を検討している。「オリンピックデーラン」については、全国的に大会が中止となったが、本市はJOCとパートナー協定を締結していることもあり、延期も含めた申し入れをしている。当面、9月開催に向け再調整しているところ。現在のところ「ディスタンスチャレンジ」は開催予定だが、6月10日を目途に判断すると聞いている。

○武山課長

社会教育関係の事業では、市外から講師を迎える場合がある。活動にあたっては、いわゆる3密を避けるよう要請している。わんぱくフェスティバルや、みよし市の野球・サッカー少年団、小学生の派遣については、すでに中止が決まっている。土曜こども文化村事業は、5月中の開催は見送ることとし、6月から開催する予定。チャレンジスクールは宿泊を伴う事業であり、学校の状況を把握しながら、実施を検討していく。学校運営協議会ではマスクの提供を呼びかけているところ、現在30枚くらいの在庫があり、必要な学校に配布をしていく。また、多寄地区の協議会では、提供いただいた材料を使用し、マスクを作成している。南小、南中では自治会の回覧を通じて材料の提供も呼びかけている。

○須藤課長

各学校には文部科学省から児童生徒と教員分のマスクが届いた。また、石屋製菓からは、新入学生を対象として「白い恋人」が送られてきたため、各学校に配布している。

○中峰教育長

市P連を通じ、各単Pに対してマスク作成協力をお願いを通知している。学校運営協議会にも協力を要請したい。図書館のイベントでは、読み聞かせを中止することにした。

○五十嵐職務代理者

学校によっては、子どもたち同士が喋っていることに対して、過剰に注意しているのではないかという話を聞いた。

○中峰教育長

大きな声を出さないように指導していると聞いているが、マスクを着用している状況で、どういう意図

でどのように注意しているのかも含め、明後日の校長会議で対応について再検討を促していく。

○馬場委員

手洗いや手指の消毒を指導することの方が重要である。

○加藤委員

学校ごとに対応が違うこともある。休み時間などはおとなしくしていても、下校の時にはマスクを外し、友達と肩を組んで歩いている子どもがいるようだ。保護者に対して注意喚起すべきでは。

○五十嵐職務代理者

大人は理解しているが、なぜマスクが必要か子どもたちに説明できているのか。

○中峰教育長

各校で指導しているところだが、どこまで詳しく説明できているかとの声もあり、学校にも伝えていく。

○加藤委員

過剰に反応するのも良くない。非常にもどかしく感じる。学校開放などで使用した後は、消毒しているのか。

○坂本課長

入学式の翌日から開放を始めているが、使用した後は、次亜塩素酸を使用し消毒するよう各団体に要請している。

○中峰教育長

匿名ではあるが、学校開放の開始に反対の意見が電話で2件、メールで1件寄せられている。利用者に対し協力を要請しており、消毒を徹底している。また、保護者が不安を感じ、子どもを通学させないという事例があったが、2日間休んだ後は通学している。このような場合は「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱う。

○加藤委員

感染した人が悪いということではない。偏見をもたないようにする必要がある。

○中峰教育長

3月に臨時休業した際は、学校だけが先行して休むことになってしまった。社会全体に理解を得るような動きの中で、国や行政が全国民や住民に対して先行して働きかけるべきだが、学校だけが先行し、理解の回り方が逆転してしまっていると感じている。

○加藤委員

学校が最初に休むことになってしまうのは厳しいと感じる。

○中峰教育長

学校現場はピリピリしている。子どもたちが納得する伝え方をする必要がある。

○五十嵐職務代理者

臨時休業が2月末から始まったが、その時は冬だったこともあり、子どもたちは抵抗なく自宅で過ごしていた。これから暖かくなってくると、外に出たい気持ちを抑えるのが大変ではないか。

○加藤委員

教職員は子どもが下校してから消毒作業をしていると思うが、その気になれば消毒する場所はいくらでもある。疲弊してしまわないか心配。

○馬場委員

タレントの手洗い動画など話題になっている。今こそ病気の正しい知識や、うがいの仕方など教えるべき時ではないか。

○中峰教育長

ハーフマラソンの開催について、ある程度の時期に判断する必要がある。他市町村では大会を中止にする所が増えてきている。市外から不特定多数の参加者が集まるイベントであるため、慎重に判断することとしたい。

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後5時33分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章